



摩擦接合用高力六角ボルト・ 六角ナット・平座金のセット

JIS B 1186 : 2013

(JSSC)

平成 25 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所（一般社団法人日本ばね工業会）
	石 丸 尋 士	公益社団法人自動車技術会
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	梶 尾 茂 樹	大阪機工株式会社（一般社団法人日本工作機械工業会）
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所（東京電機大学）
	田 淵 宏 政	社団法人日本バルブ工業会
	堀 功	日本工具工業会
	遠 山 史 雄	一般社団法人日本ベアリング工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 39.6.1 改正：平成 25.6.20

官 報 公 示：平成 25.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鋼構造協会

（〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル TEL 03-5919-1535）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会（委員長 高増 潔）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 セットの構成及び種類・等級	2
4.1 セットの構成	2
4.2 種類・等級	2
4.3 ロットの構成	2
5 機械的性質	3
5.1 ボルトの機械的性質	3
5.2 ナットの機械的性質	4
5.3 座金の硬さ	4
6 セットのトルク係数値	4
7 形状・寸法	4
8 ねじ	7
9 外観	7
9.1 ボルトの外観	7
9.2 ナットの外観	7
9.3 座金の外観	7
10 材料	7
11 潤滑及び防せい（錆）処理	7
12 試験及び測定方法	7
12.1 ボルトの機械的性質試験	7
12.2 ナットの機械的性質試験	9
12.3 座金の硬さ試験	9
12.4 セットのトルク係数値試験	10
13 検査	10
13.1 形状及び寸法検査	10
13.2 ねじ検査	10
13.3 外観検査	10
13.4 機械的性質検査	11
13.5 セットのトルク係数値検査	11
14 製品の呼び方	12
15 表示	12
15.1 製品の表示	12

	ページ
15.2 包装の表示	12
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鋼構造協会（JSSC）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 1186:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 26 年 6 月 19 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS B 1186:2007** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

摩擦接合用高力六角ボルト・ 六角ナット・平座金のセット

Sets of high strength hexagon bolt, hexagon nut and
plain washers for friction grip joints

序文

この規格は、1964 年に制定され、その後 7 回の改正を経て今日に至っている。実質的な改正は 1995 年以来行われていない。その後の製造技術の進歩及び品質向上に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、主として鋼構造に使用する摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット（以下、セットという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0101 ねじ用語

JIS B 0205-3 一般用メートルねじ－第 3 部：ねじ部品用に選択したサイズ

JIS B 0209-2 一般用メートルねじ－公差－第 2 部：一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法－中（はめあい区分）

JIS B 0251 メートルねじ用限界ゲージ

JIS B 4652 手動式トルクツールの要求事項及び試験方法

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験－試験方法

JIS Z 2320（規格群）非破壊試験－磁粉探傷試験

JIS Z 2343-1 非破壊試験－浸透探傷試験－第 1 部：一般通則：浸透探傷試験方法及び浸透指示模様の分類

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 9003 計量規準型一回抜取検査（標準偏差既知でロットの平均値を保証する場合及び標準偏差既知でロットの不良率を保証する場合）

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS B 0101** によるほか、次による。